

# 令和2年度 豪雪に対する緊急要望



令和3年3月8日

新潟県

新潟県市長会

新潟県町村会

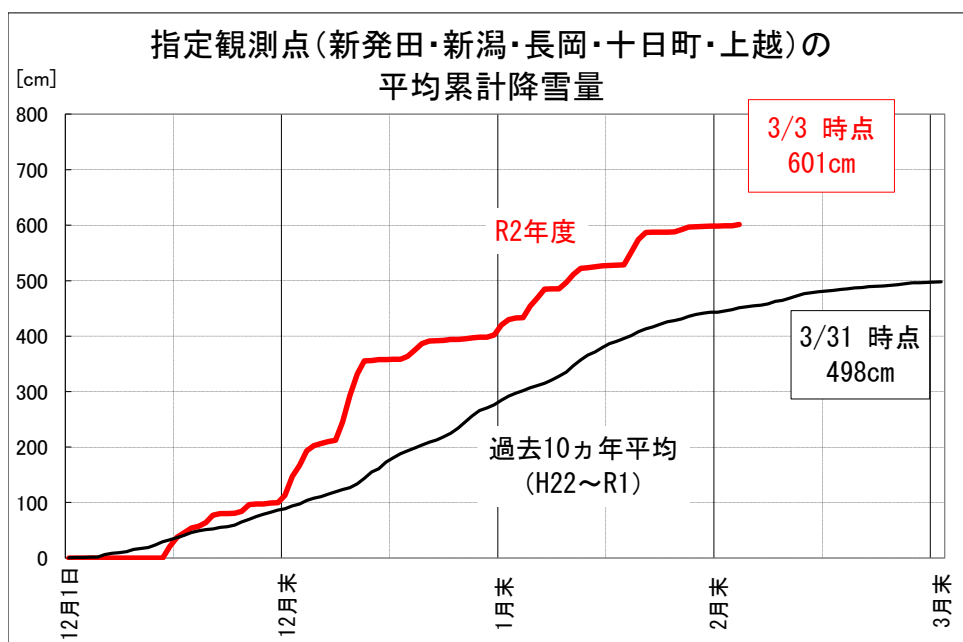
今冬は、県内各地で観測史上1位となる短時間集中降雪を記録し、上越市では24時間で103cm、糸魚川市では48時間で143cmと、統計開始以来の最高値を更新し、3月3日時点の平均累計降雪量は601cmに達しました。

昨年12月中旬から今年1月にかけての記録的な短時間集中降雪により、相次ぐ終日の除雪作業にも関わらず積雪が増し道路幅員が狭まったことで、車両のすれ違い困難等の交通障害が発生し、一時的に物流機能が低下しました。このことにより、ガソリンスタンドへの供給が滞ったり、スーパーの食料品が品薄になったりしました。また、通学路の安全が確保できないとして、上越市内の小中学校は1月12日から一斉休校し、休校は8日間にも及びました。

このように今冬の降雪は、まさに災害といっても過言ではないほどに、住民の日常生活に多大な影響を及ぼしました。

このような状況下において、2月中旬にはなおも大雪に見舞われ、2月24日時点の本県の道路除排雪費は130億円以上に達し、3月末までには、これまでの最高額であった平成29年度の139億円を上回ると見込んでいます。これは、交通障害解消のため、例年を大幅に上回る排雪作業を余儀なくされたことによるもので、これに伴い平年以上の道路除排雪費を要しています。

また、多くの市町村においても、豪雪の平成29年度を上回る除排雪費となっており、基金を取り崩すなど、県・市町村ともに財政を圧迫している状況となっていることから、道路除排雪費に対する更なる財政支援について要望いたします。



## ○ 臨時特例措置等による道路除排雪経費への更なる財政支援

このたびの除雪費については、例年より前倒しで追加配分をいただいたところですが、今冬の記録的な短時間集中降雪や、2月中旬にも大雪に見舞われたことなどにより、平年を大きく上回る道路除排雪費を要し、地方財政を圧迫している状況です。

令和2年度の県の道路除排雪費は、2月24日時点で130億円以上執行済みであります。特に山間部では例年3月にも降雪が予想され、今後も増加し、過去最大となる見込みです。

雪寒法では、除雪に係る経費の補助率は2/3と定められております。現時点の県への除雪費補助の国費配分は、追加配分を含め約41億円をいただいているところですが、国費が不足しているため、更なる追加配分が必要な状況となっております。

つきましては、雪寒法に定める補助率2/3を充足する国庫支出金総額について、他事業に影響が出ないように予備費の活用等により確保し、県単独費による超過負担が発生しないよう、更なる支援について特段のご配慮をお願いいたします。

また、市町村における道路除排雪費についても、市町村道除雪費補助の臨時特例措置により、市町村の負担が軽減されるよう特段の財政支援をお願いいたします。

(国土交通省道路局)  
(財務省主計局)

